



なかしん

景況レポート



No.157

中兵庫信用金庫

経営企画部

第 157 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2024 年 3 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2024 年 3 月を調査時点とする 2023 年度第 4 四半期(2024 年 1 月～3 月)実績(3 月は予想)、及び 2024 年度第 1 四半期(2024 年 4 月～6 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	2024 年 3 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	419 先
有効回答数	414 先 (回答率 98.8%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	108	105
卸売業	37	37
小売業	101	100
サービス業	66	66
建設業	75	75
不動産業	32	31
合計	419	414

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

景気の状態について

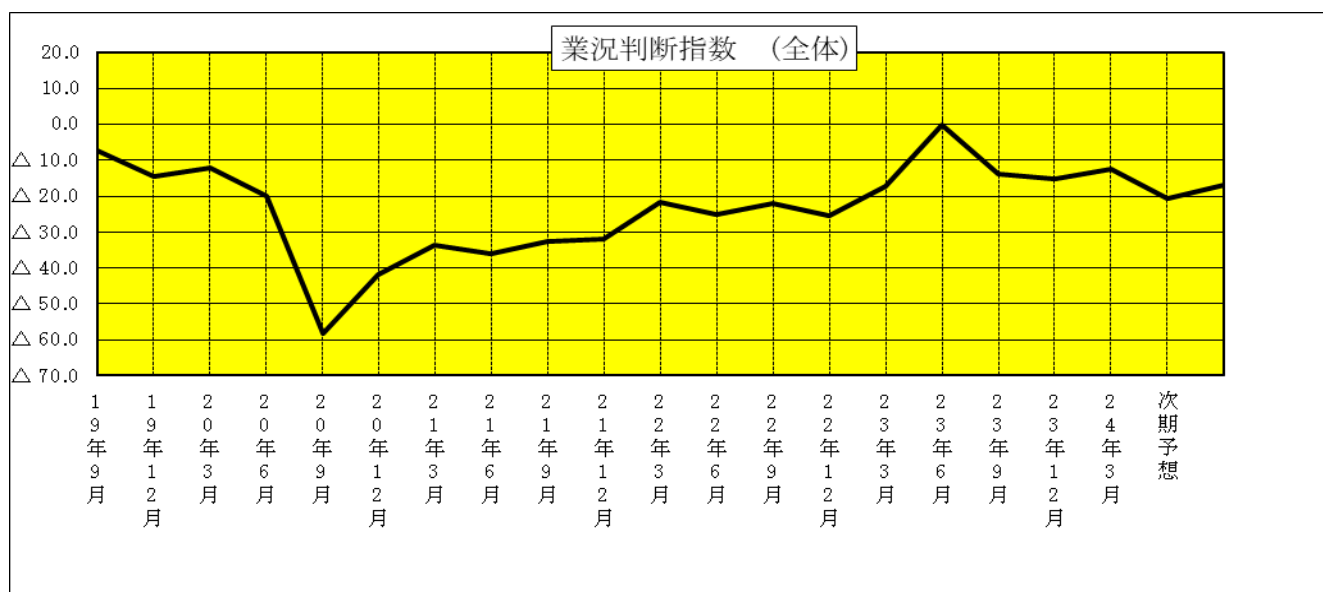
1. 総合的景況判断

業況の推移

調査時点	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2023年	1～3月	11.3	57.2	31.5	△ 20.2
2023年	4～6月	13.1	60.0	26.9	△ 13.8
2023年	7～9月	10.7	63.3	26.0	△ 15.3
2023年	10～12月	13.4	60.6	26.0	△ 12.6
2024年	1～3月	10.6	58.2	31.2	△ 20.6
見通し	4～6月	11.9	59.2	28.9	△ 17.0

業種別業況(2024年1月～3月)

業種	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	次回予想	
						前回調査比	D I 今回調査比
製造業		16.2	55.2	28.6	△ 12.4	△ 15.3	△ 12.4 0.0
非製造業		8.7	59.3	32.0	△ 23.3	△ 5.3	△ 18.6 4.7
(卸売業)		5.4	59.5	35.1	△ 29.7	△ 2.7	△ 24.3 5.4
(小売業)		10.0	50.0	40.0	△ 30.0	△ 3.3	△ 27.6 2.4
(サービス業)		12.1	65.2	22.7	△ 10.6	△ 2.8	△ 7.6 3.0
(建設業)		4.0	66.7	29.3	△ 25.3	△ 9.1	△ 14.7 10.6
(不動産業)		12.9	58.1	29.0	△ 16.1	△ 12.8	△ 16.1 0.0
全体		10.6	58.2	31.2	△ 20.6	△ 8.0	△ 17.0 3.6



○今 期

今期（2024年1月～3月期）の景況をみると、業況D Iは前回調査比で8.0ポイント減少の△20.6と悪化した。

業種別でみると、製造業で15.3ポイント、卸売業で2.7ポイント、サービス業で2.8ポイント、小売業で3.3ポイント、建設業で9.1ポイント、不動産業で12.8ポイント全業種で減少した。

○次期予想

次期予想について、業況D Iは今回調査比で3.6ポイント増加の△17.0と改善する見通しである。

業種別でみると、卸売業で5.4ポイント、小売業で2.4ポイント、サービス業で3.0ポイント、建設業で10.6ポイント増加し不動産業、製造業で増減なしの見通しである。

業種別業況判断

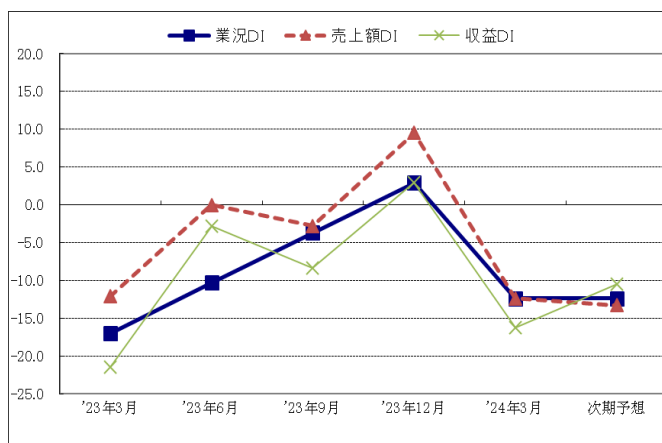
① 製造業

業況D Iは前回調査より15.3 ㊦減少の△12.4、売上額D Iは21.9 ㊦減少の△12.4、収益D Iは19.1 ㊦減少の△16.2と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況D Iは増減なく△12.4、売上額D Iは0.9 ㊦減少の△13.3と悪化し収益D Iは5.7 ㊦増加の△10.5と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'23年3月	'23年6月	'23年9月	'23年12月	'24年3月	次期予想		
					前回調査比	今回調査比	今回調査比	
業況DI	△17.0	△10.3	△3.7	2.9	△12.4	△15.3	△12.4	0.0
売上額DI	△12.1	0.0	△2.8	9.5	△12.4	△21.9	△13.3	△0.9
収益DI	△21.5	△2.8	△8.4	2.9	△16.2	△19.1	△10.5	5.7



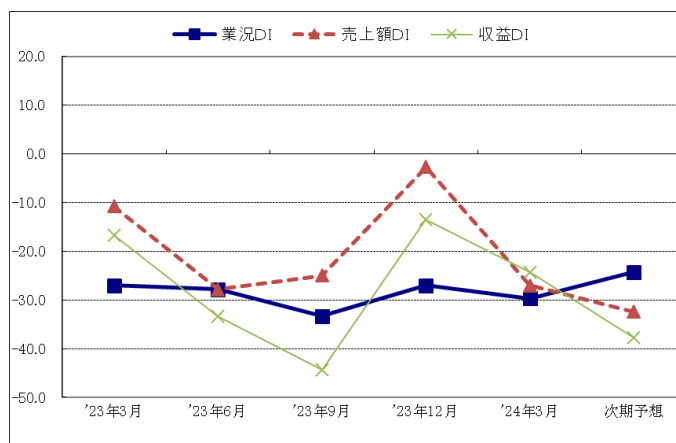
② 卸売業

業況D Iは2.7 ㊦減少の△29.7、売上額D Iは24.3 ㊦減少の△27.0、収益D Iは前回調査より10.8 ㊦減少の△24.3と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況D Iは5.4 ㊦増加の△24.3と改善し、売上額D Iは5.4 ㊦減少の△32.4、収益D Iは13.5 ㊦減少の△37.8と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年月	'23年3月	'23年6月	'23年9月	'23年12月	'24年3月	次期予想		
					前回調査比	今回調査比	今回調査比	
業況DI	△27.0	△27.8	△33.3	△27.0	△29.7	△2.7	△24.3	5.4
売上額DI	△10.8	△27.8	△25.0	△2.7	△27.0	△24.3	△32.4	△5.4
収益DI	△16.7	△33.3	△44.4	△13.5	△24.3	△10.8	△37.8	△13.5



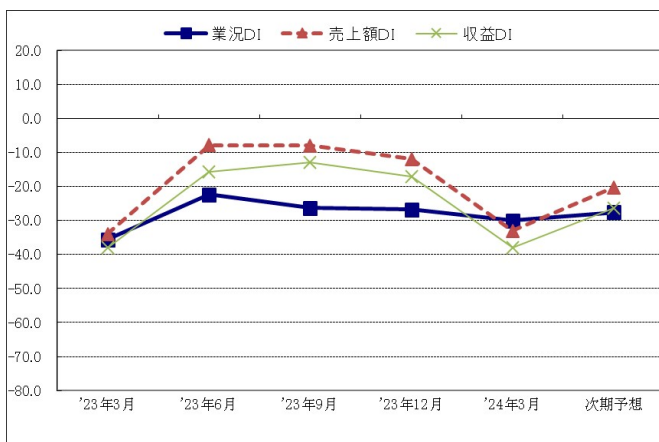
③ 小売業

業況DIは前回調査より 3.3 ㊦減少の△30.0、売上額DIは 21.1 ㊦減少の△33.0、収益DIは 21.0 ㊦減少の△38.0 と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは 2.4 ㊦増加の△27.6、売上額DIは 12.8 ㊦増加の△20.2、収益DIは 11.7 ㊦増加の△26.3 と改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'23年3月	'23年6月	'23年9月	'23年12月	'24年3月	次期予想		
					前回調査比	今回調査比		
業況DI	△ 35.6	△ 22.3	△ 26.3	△ 26.7	△ 30.0	△ 3.3	△ 27.6	2.4
売上額DI	△ 34.0	△ 7.8	△ 8.0	△ 11.9	△ 33.0	△ 21.1	△ 20.2	12.8
収益DI	△ 38.0	△ 15.6	△ 13.0	△ 17.0	△ 38.0	△ 21.0	△ 26.3	11.7



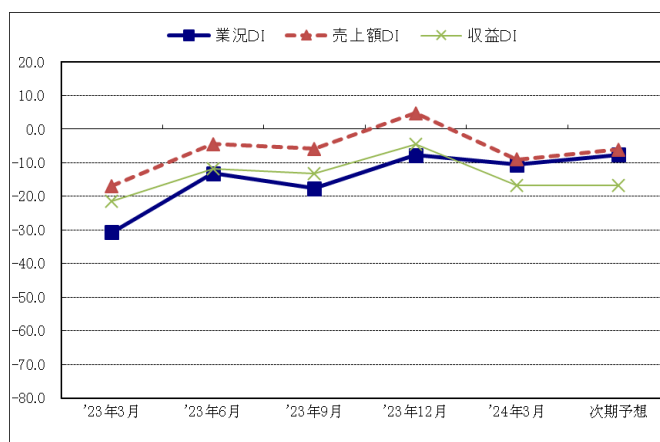
④ サービス業

業況DIは前回調査より 2.8 ㊦減少の△10.6、売上額DIは 13.8 ㊦減少の△9.1、収益DIは 12.1 ㊦減少の△16.7 と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは 3.0 ㊦増加の△7.6、売上額DIは 3.0 ㊦増加の△6.1、収益DIは 9.1 ㊦増加の△7.6 と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'23年3月	'23年6月	'23年9月	'23年12月	'24年3月	次期予想		
					前回調査比	今回調査比		
業況DI	△ 30.7	△ 13.2	△ 17.6	△ 7.8	△ 10.6	△ 2.8	△ 7.6	3.0
売上額DI	△ 16.9	△ 4.4	△ 5.9	4.7	△ 9.1	△ 13.8	△ 6.1	3.0
収益DI	△ 21.5	△ 11.8	△ 13.2	△ 4.6	△ 16.7	△ 12.1	△ 7.6	9.1



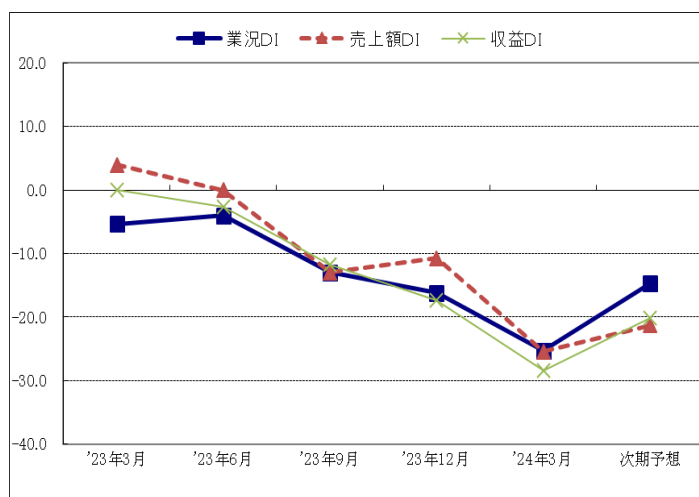
⑤ 建設業

業況DIは前回調査より9.1ポイント減少の△25.3、売上額DIは14.7ポイント減少の△25.4、収益DIは11.0ポイント減少の△28.4と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは10.6ポイント増加の△14.7、売上額DIは4.1ポイント増加の△21.3、収益DIは8.2ポイント増加の△20.2と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'23年3月	'23年6月	'23年9月	'23年12月	'24年3月	次期予想		
					前回調査比	今回調査比		
業況DI	△5.3	△4.0	△13.0	△16.2	△25.3	△9.1	△14.7	10.6
売上額DI	4.0	0.0	△13.0	△10.7	△25.4	△14.7	△21.3	4.1
収益DI	0.0	△2.7	△11.7	△17.4	△28.4	△11.0	△20.2	8.2



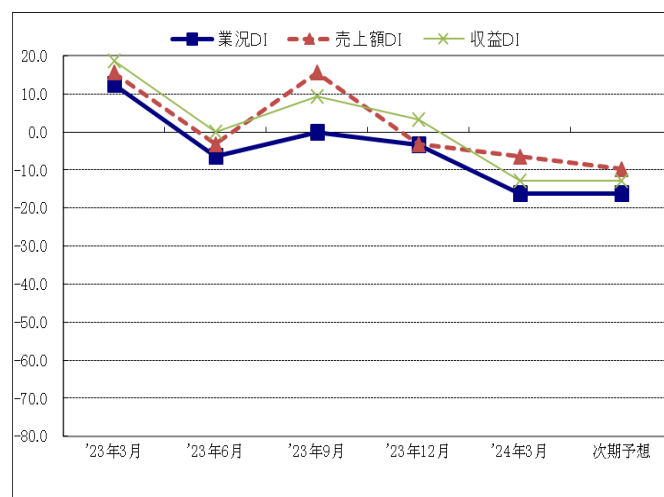
⑥ 不動産業

業況DIは前回調査より12.8ポイント減少の△16.1、売上額DIは3.3ポイント減少の△6.5、収益DIは16.2ポイント減少の△12.9と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは増減なく△16.1、売上額DIは3.2ポイント増加の△9.7と改善し、収益DIは増減なく△12.9となる見通しである。

主要DIの推移

年月	'23年3月	'23年6月	'23年9月	'23年12月	'24年3月	次期予想		
					前回調査比	今回調査比		
業況DI	12.5	△6.4	0.0	△3.3	△16.1	△12.8	△16.1	0.0
売上額DI	15.6	△3.2	15.6	△3.2	△6.5	△3.3	△9.7	3.2
収益DI	18.7	0.0	9.4	3.3	△12.9	△16.2	△12.9	0.0



2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「減少した」とする企業が8.4%増加し、「増加した」とする企業は9.5%減少したことから、D Iは17.9%減少の△20.1と悪化した。

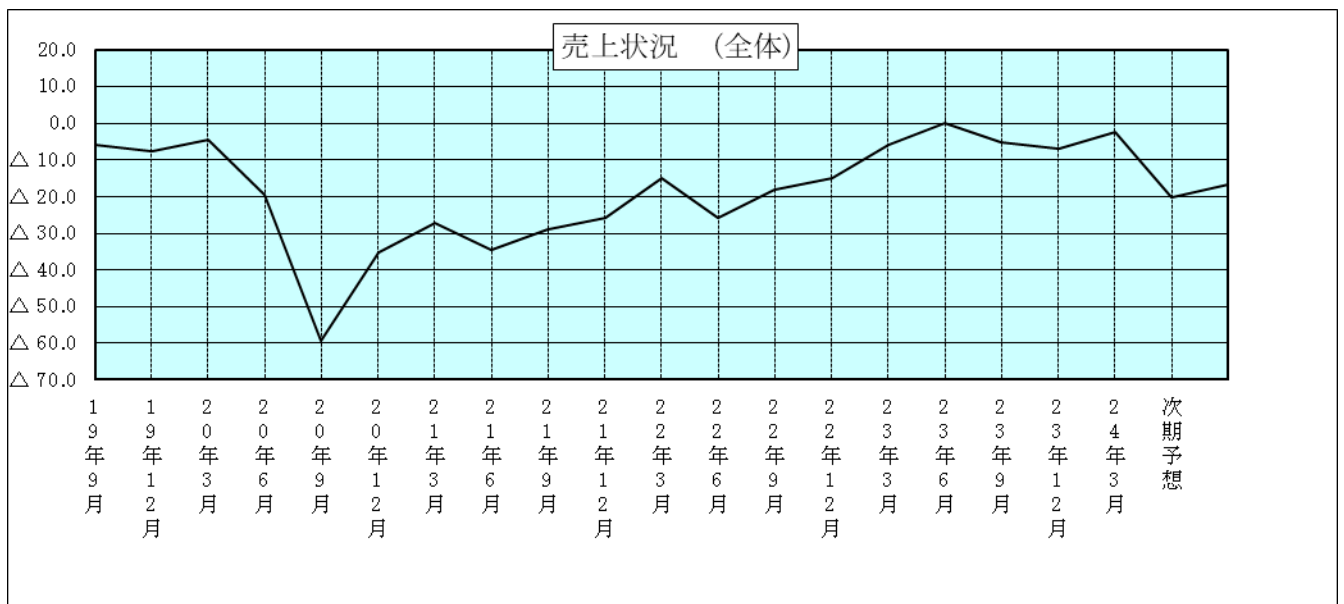
次回予想D Iは3.4%増加の△16.7と改善する見通しである。

売上状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2023年	1～3月	16.8	53.4	29.8	△ 13.0
2023年	4～6月	18.6	57.6	23.8	△ 5.2
2023年	7～9月	16.7	59.7	23.6	△ 6.9
2023年	10～12月	22.5	52.8	24.7	△ 2.2
2024年	1～3月	13.0	53.9	33.1	△ 20.1
	前回調査比	△ 9.5	1.1	8.4	△ 17.9
見通し	4～6月	11.1	61.1	27.8	△ 16.7
	今回調査比	△ 1.9	7.2	△ 5.3	3.4

業種別売上状況(2024年1月～3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		20.0	47.6	32.4	△ 12.4	9.5	△ 13.3
卸売業		2.7	67.6	29.7	△ 27.0	△ 2.7	△ 32.4
小売業		9.0	49.0	42.0	△ 33.0	△ 11.9	△ 20.2
サービス業		16.7	57.5	25.8	△ 9.1	4.7	△ 6.1
建設業		9.3	56.0	34.7	△ 25.4	△ 10.7	△ 21.3
不動産業		16.1	61.3	22.6	△ 6.5	△ 3.2	△ 9.7
全体		13.0	53.9	33.1	△ 20.1	△ 2.2	△ 16.7



3. 収益状況

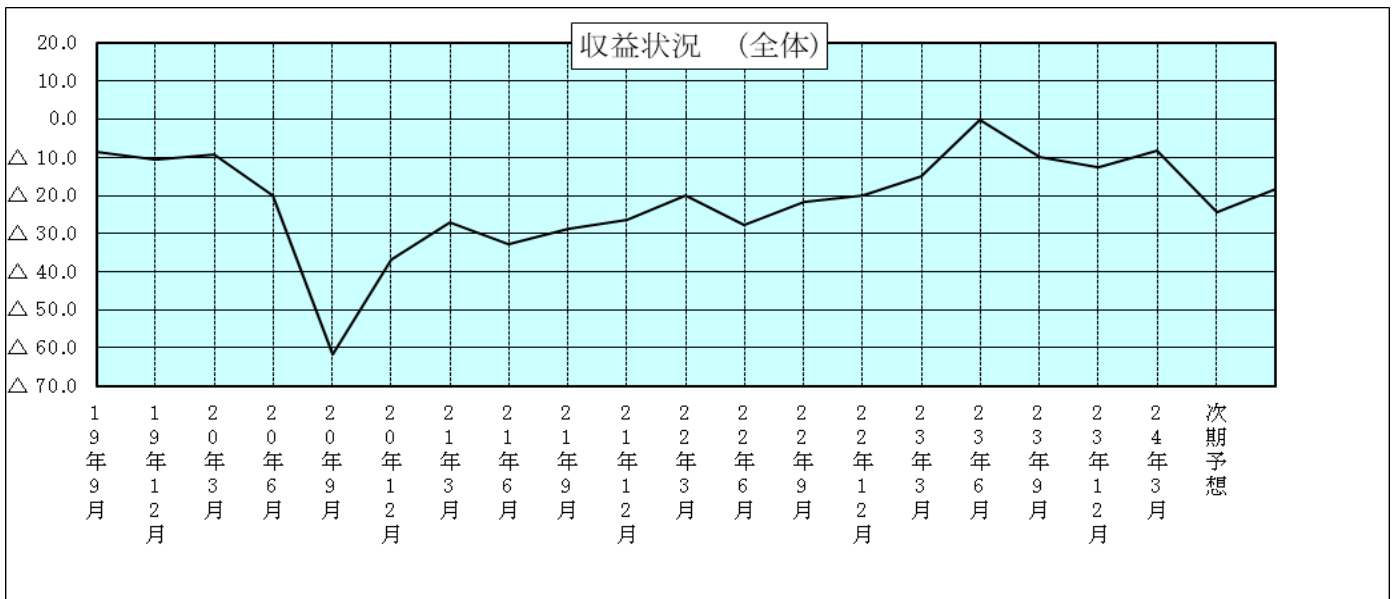
収益状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が 5.9 ㊦減少し、「減少した」とする企業は 10.1 ㊦増加したことから、D I は 16.0 ㊦減少の△24.2 と悪化した。
 次回予想D I は 6.0 ㊦増加の△18.2 と改善する見通しである。

収益状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2023年	1～3月	12.5	56.9	30.6	△ 18.1
2023年	4～6月	15.2	59.8	25.0	△ 9.8
2023年	7～9月	12.6	62.2	25.2	△ 12.6
2023年	10～12月	16.3	59.2	24.5	△ 8.2
2024年	1～3月	10.4	55.0	34.6	△ 24.2
	前回調査比	△ 5.9	△ 4.2	10.1	△ 16.0
見通し	4～6月	9.5	62.8	27.7	△ 18.2
	今回調査比	△ 0.9	7.8	△ 6.9	6.0

業種別収益状況(2024年1月～3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		14.3	55.2	30.5	△ 16.2	2.9	△ 10.5
卸売業		5.4	64.9	29.7	△ 24.3	△ 13.5	△ 37.8
小売業		7.0	48.0	45.0	△ 38.0	△ 17.0	△ 26.3
サービス業		12.1	59.1	28.8	△ 16.7	△ 4.6	△ 7.6
建設業		8.1	55.4	36.5	△ 28.4	△ 17.4	△ 20.2
不動産業		16.1	54.9	29.0	△ 12.9	3.3	△ 12.9
全体		10.4	55.0	34.6	△ 24.2	△ 8.2	△ 18.2



○販売価格

販売価格は、前回調査に比べ、「下降した」とする企業が3.3 ㊦増加し、「上昇した」とする企業が5.9 ㊦減少したことから、D Iは9.2 ㊦減少の6.3と悪化した。

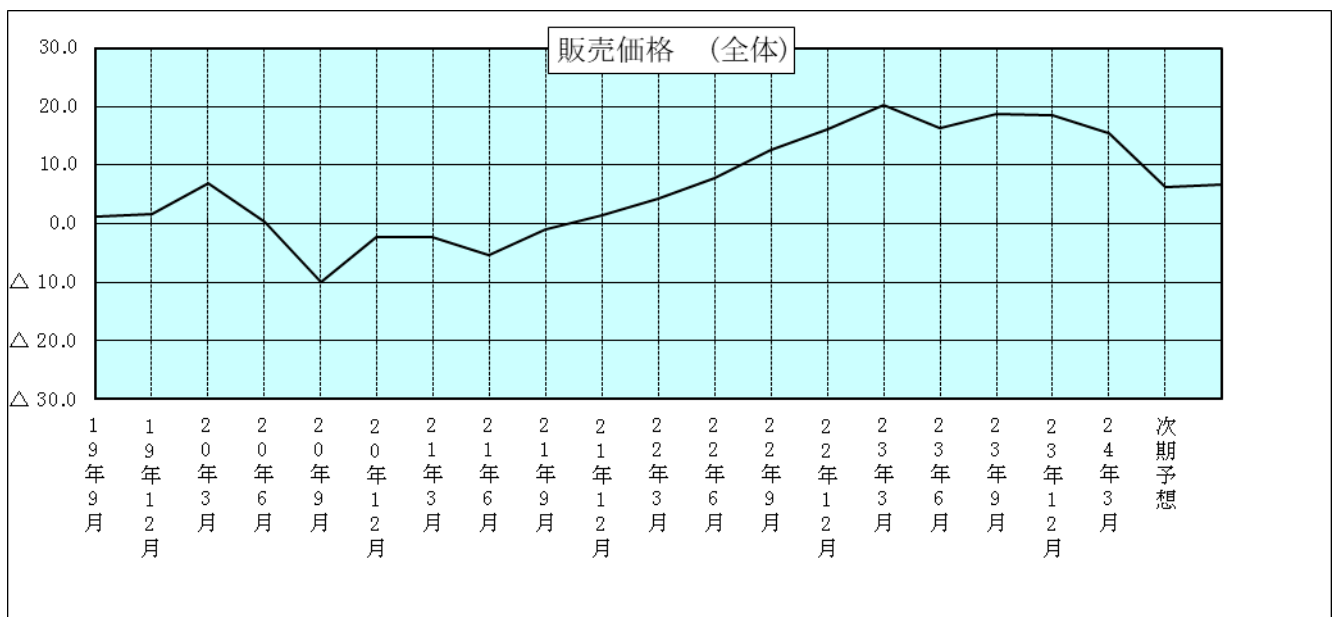
次回予想D Iは、0.3 ㊦増加の6.6と改善する見通しである。

販売価格の推移

調査時点	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)
2023年	1～3月	21.7	73.0	5.3	16.4
2023年	4～6月	23.6	71.6	4.8	18.8
2023年	7～9月	24.1	70.2	5.7	18.4
2023年	10～12月	20.4	74.7	4.9	15.5
2024年	1～3月	14.5	77.3	8.2	6.3
	前回調査比	△ 5.9	2.6	3.3	△ 9.2
見通し	4～6月	12.9	80.8	6.3	6.6
	今回調査比	△ 1.6	3.5	△ 1.9	0.3

業種別販売価格状況(2024年1月～3月)

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		13.3	83.8	2.9	10.4	19.0	7.6
卸売業		21.6	64.9	13.5	8.1	21.6	8.1
小売業		21.0	66.0	13.0	8.0	20.8	11.1
サービス業		10.6	83.3	6.1	4.5	10.9	10.6
建設業		12.2	79.7	8.1	4.1	4.0	1.3
不動産業		3.2	87.1	9.7	△ 6.5	16.1	△ 9.7
全体		14.5	77.3	8.2	6.3	15.5	6.6



○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とした企業が 0.8 ㊦減少し、「苦しい」とした企業が 1.7 ㊦増加したことから、D I は 2.5 ㊦減少の△15.5 と悪化した。

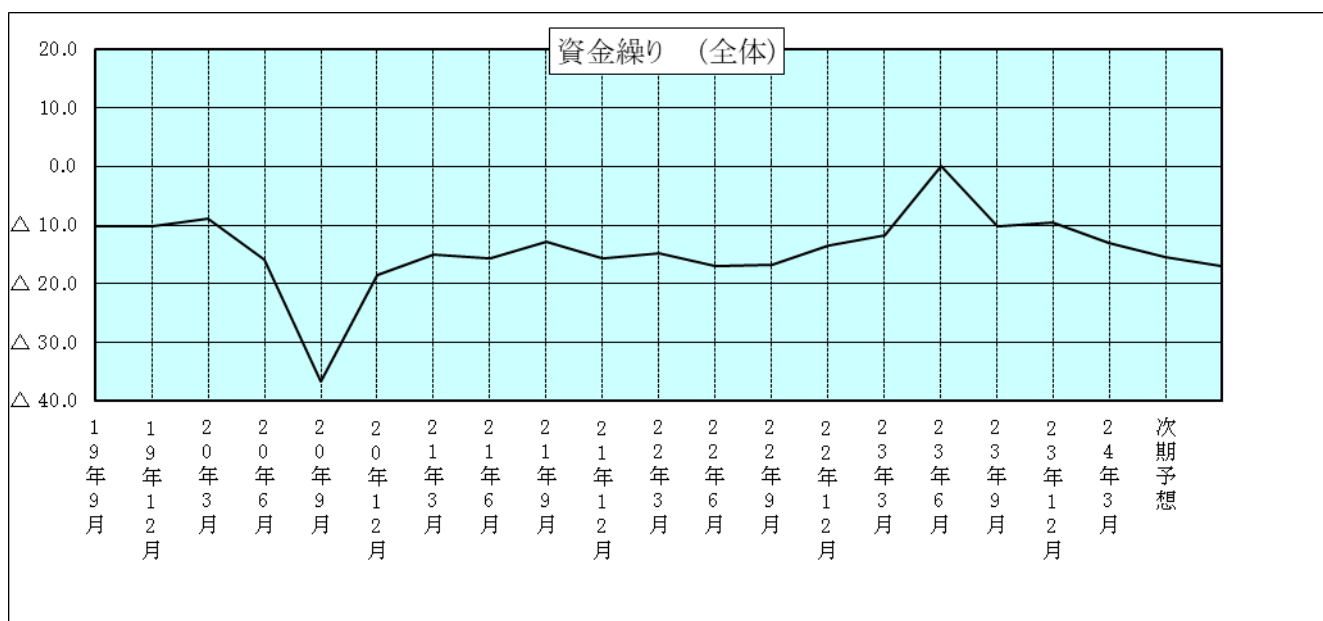
次回予想D I は、1.4 ㊦減少の△16.9 と悪化する見通しである。

資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
2023年	1～3月	5.8	78.1	16.1	△ 10.3
2023年	4～6月	4.8	80.2	15.0	△ 10.2
2023年	7～9月	3.8	82.9	13.3	△ 9.5
2023年	10～12月	4.4	78.2	17.4	△ 13.0
2024年	1～3月	3.6	77.3	19.1	△ 15.5
	前回調査比	△ 0.8	△ 0.9	1.7	△ 2.5
見通し	4～6月	6.1	70.9	23.0	△ 16.9
	今回調査比	2.5	△ 6.4	3.9	△ 1.4

業種別資金繰り状況(2024年1月～3月)

業種	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		4.8	79.0	16.2	△ 11.4	△ 5.7	△ 12.4
卸売業		2.7	83.8	13.5	△ 10.8	△ 18.9	△ 27.0
小売業		4.0	73.0	23.0	△ 19.0	△ 17.8	△ 26.3
サービス業		4.5	71.3	24.2	△ 19.7	△ 14.0	△ 12.1
建設業		2.7	80.0	17.3	△ 14.6	△ 12.0	△ 13.4
不動産業		0.0	83.9	16.1	△ 16.1	△ 16.1	△ 9.7
全体		3.6	77.3	19.1	△ 15.5	△ 13.0	△ 16.9



5. 雇用面の動き

○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が3.2%減少し、「減少した」とする企業が2.9%増加したことから、D Iは6.1%減少の△6.8となった。

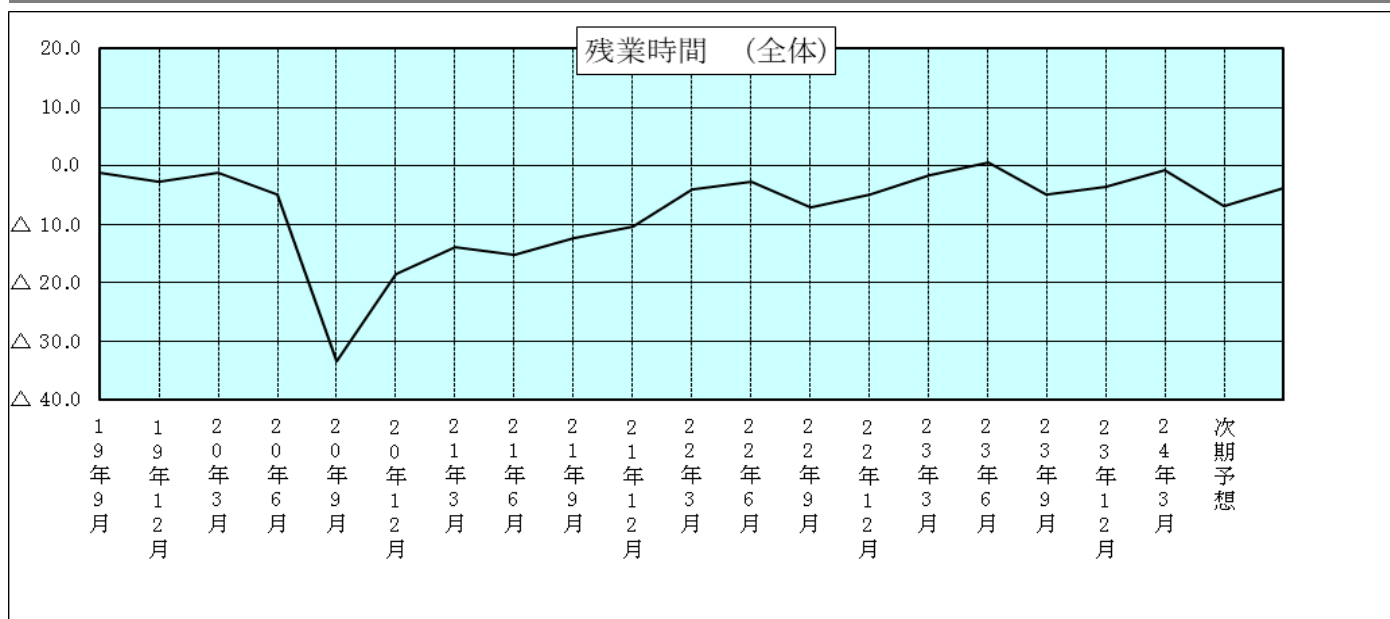
次回予想D Iは、3.1%増加の△3.7となる見通しである。

残業時間状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2023年	1～3月	9.6	81.5	8.9	0.7
2023年	4～6月	5.7	83.8	10.5	△ 4.8
2023年	7～9月	4.1	88.2	7.7	△ 3.6
2023年	10～12月	6.8	85.7	7.5	△ 0.7
2024年	1～3月	3.6	86.0	10.4	△ 6.8
	前回調査比	△ 3.2	0.3	2.9	△ 6.1
見通し	4～6月	4.1	88.1	7.8	△ 3.7
	今回調査比	0.5	2.1	△ 2.6	3.1

業種別残業時間状況(2024年1月～3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		6.7	81.9	11.4	△ 4.7	1.0	△ 5.8
卸売業		2.7	83.8	13.5	△ 10.8	△ 5.4	△ 2.7
小売業		2.0	85.0	13.0	△ 11.0	△ 3.9	△ 5.1
サービス業		4.5	86.4	9.1	△ 4.6	△ 1.5	△ 1.5
建設業		2.7	90.6	6.7	△ 4.0	4.0	△ 1.3
不動産業		0.0	93.5	6.5	△ 6.5	0.0	△ 3.3
全体		3.6	86.0	10.4	△ 6.8	△ 0.7	△ 3.7



○人 手

人手の状況は、前回調査と比べ、「不足」とする企業が 0.9 ㊦増加し、「過剰」とした企業が 2.9 ㊦増加したことから、D I は全体で 2.0 ㊦増加の△15.7 となった。

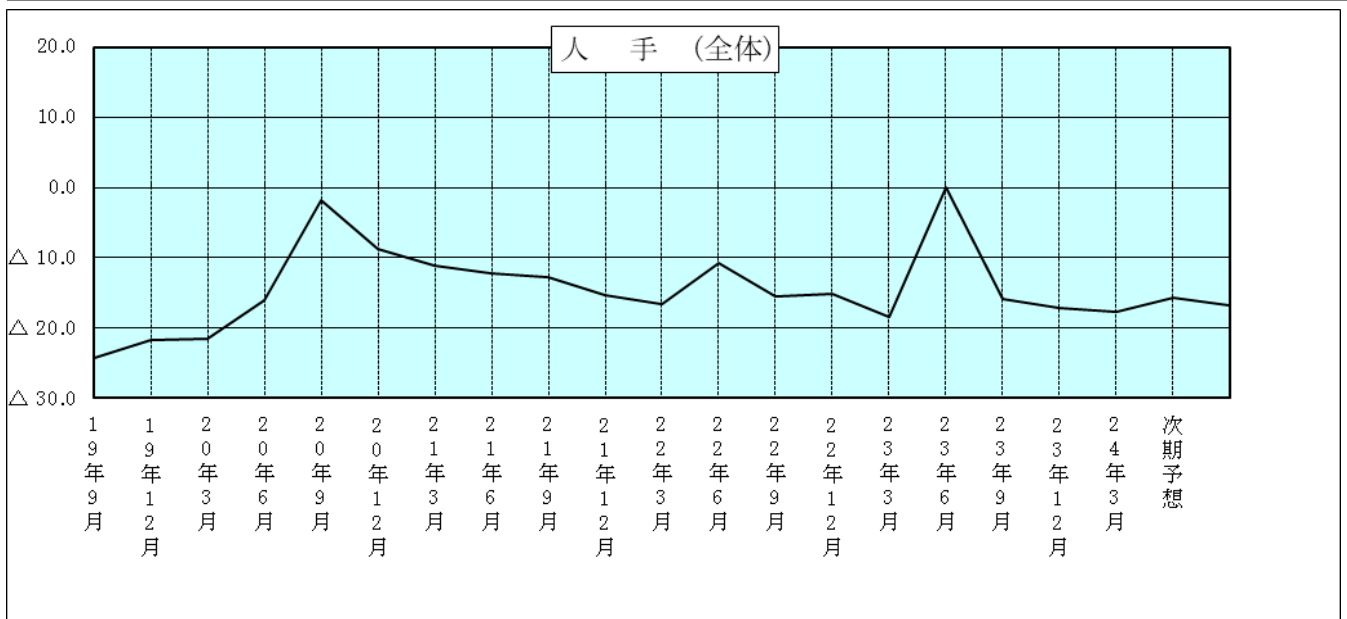
次回予想D I は、全体で 1.1 ㊦減少の△16.8 となる見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2023年	1～3月	2.2	77.4	20.4	△ 18.2
2023年	4～6月	2.9	78.3	18.8	△ 15.9
2023年	7～9月	2.6	77.7	19.7	△ 17.1
2023年	10～12月	1.0	80.3	18.7	△ 17.7
2024年	1～3月	3.9	76.5	19.6	△ 15.7
	前回調査比	2.9	△ 3.8	0.9	2.0
見通し	4～6月	4.7	73.8	21.5	△ 16.8
	今回調査比	0.8	△ 2.7	1.9	△ 1.1

業種别人手状況(2024年1月～3月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		5.7	74.3	20.0	△ 14.3	△ 18.0	△ 14.4
卸 売 業		5.4	73.0	21.6	△ 16.2	△ 13.9	△ 8.1
小 売 業		3.0	79.0	18.0	△ 15.0	△ 14.8	△ 53.8
サ ー ビ ス 業		4.5	71.3	24.2	△ 19.7	△ 21.9	△ 13.7
建 設 業		2.7	76.0	21.3	△ 18.6	△ 22.6	△ 18.7
不 動 産 業		0.0	93.5	6.5	△ 6.5	△ 9.7	△ 6.5
全 体		3.9	76.5	19.6	△ 15.7	△ 17.7	△ 16.8



6. 経営上の 問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、複数の業種で「売上の停滞・減少」が1位、2位となり、サービス業では「人手不足」が1位となった。

当面の重点経営施策では、多くの業種で「経費を節減する」と「販路を広げる」が1位と2位を占めたが、小売業で「品揃えを改善する」、不動産業で「宣伝広告を強化する」がそれぞれ2位となった。

経営上の問題点

(複数回答 単位:%)

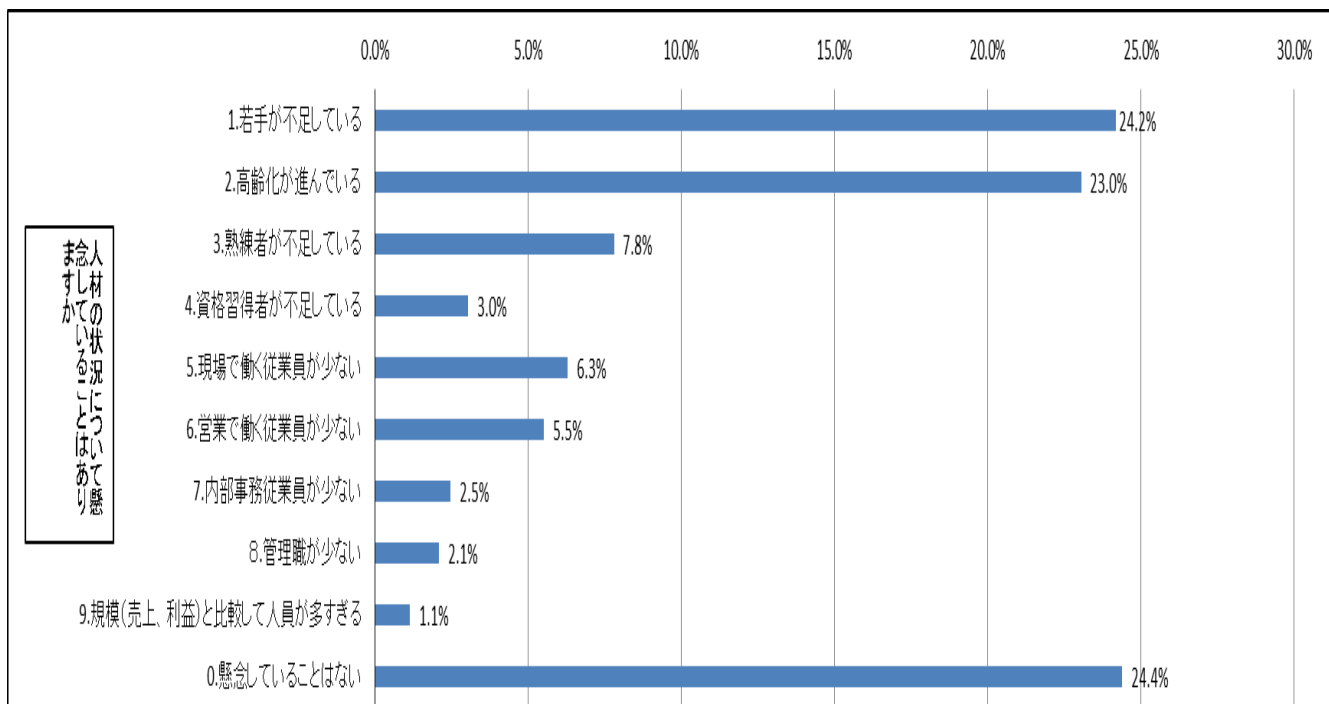
業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	44.8	原材料高	38.1	人手不足 同業者間の競争の激化	19.0		
卸売業	売上の停滞・減少	32.4	同業者間の競争の激化 利幅の減少 問題なし	21.6				
小売業	売上の停滞・減少	50.0	仕入先からの 値上げ要請	25.0	同業者間の 競争の激化	20.0	利幅の減少 商圏人口の減少	15.0
サービス業	人手不足	31.8	売上の停滞・減少	30.3	同業者間の競争の激化	22.7	商圏人口の減少	15.2
建設業	材料価格の上昇	46.7	売上の停滞・減少	30.7	同業者間の競争の激化	29.3	人手不足	18.7
不動産業	売上の停滞・減少	33.3	商品物件の不足	26.7	同業者間の競争の激化	23.3	商品物件の高騰 利幅の減少	20.0

当面の重点経営施策

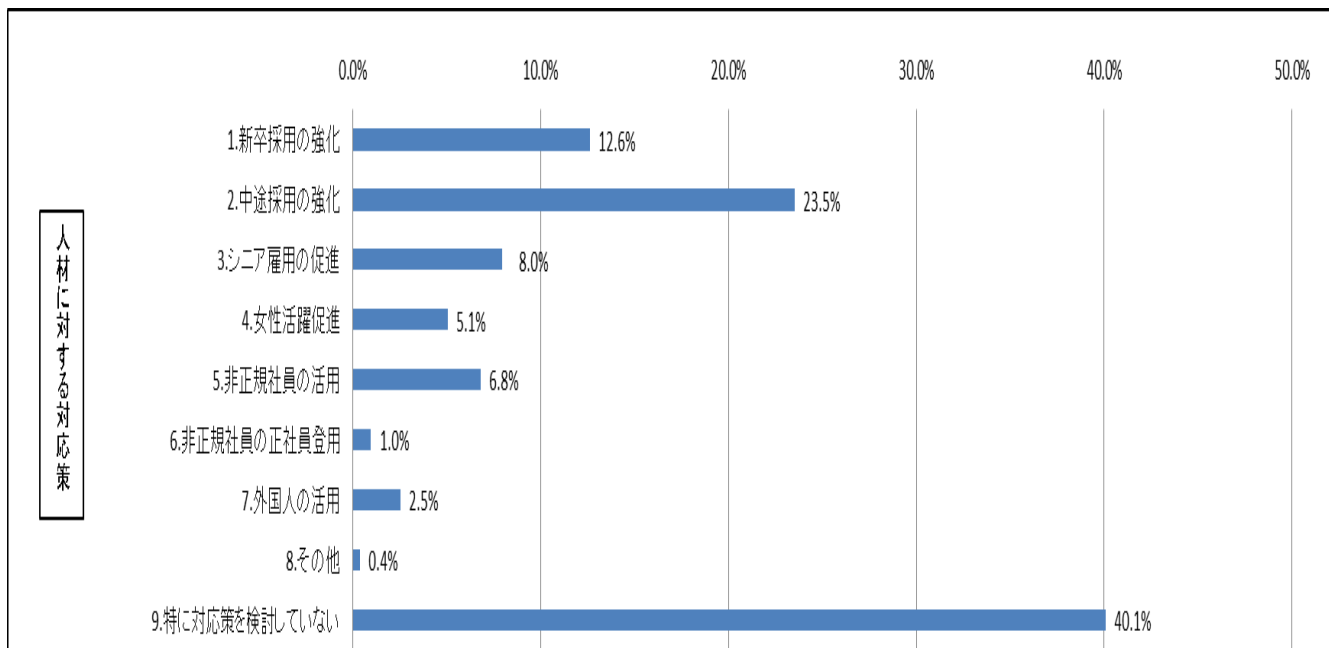
(複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	販路を広げる	49.5	経費を節減する	45.7	人材を確保する	23.8	情報力を強化する 新製品・技術を開発する	17.1
卸売業	販路を広げる	45.9	経費を節減する	29.7	人材を確保する	24.3	情報力を強化する	18.9
小売業	経費を節減する	52.0	品揃えを改善する	25.0	宣伝・広告を強化する	22.0	特になし	21.0
サービス業	経費を節減する	43.9	販路を広げる	39.4	技術力を強化する	21.2	人材を確保する	18.2
建設業	販路を広げる	45.9	経費を節減する	37.8	技術力を高める	32.4	人材を確保する	28.4
不動産業	販路を広げる	56.7	宣伝・広告を 強化する	36.7	経費を節減する	30.0	情報力を強化する	26.7

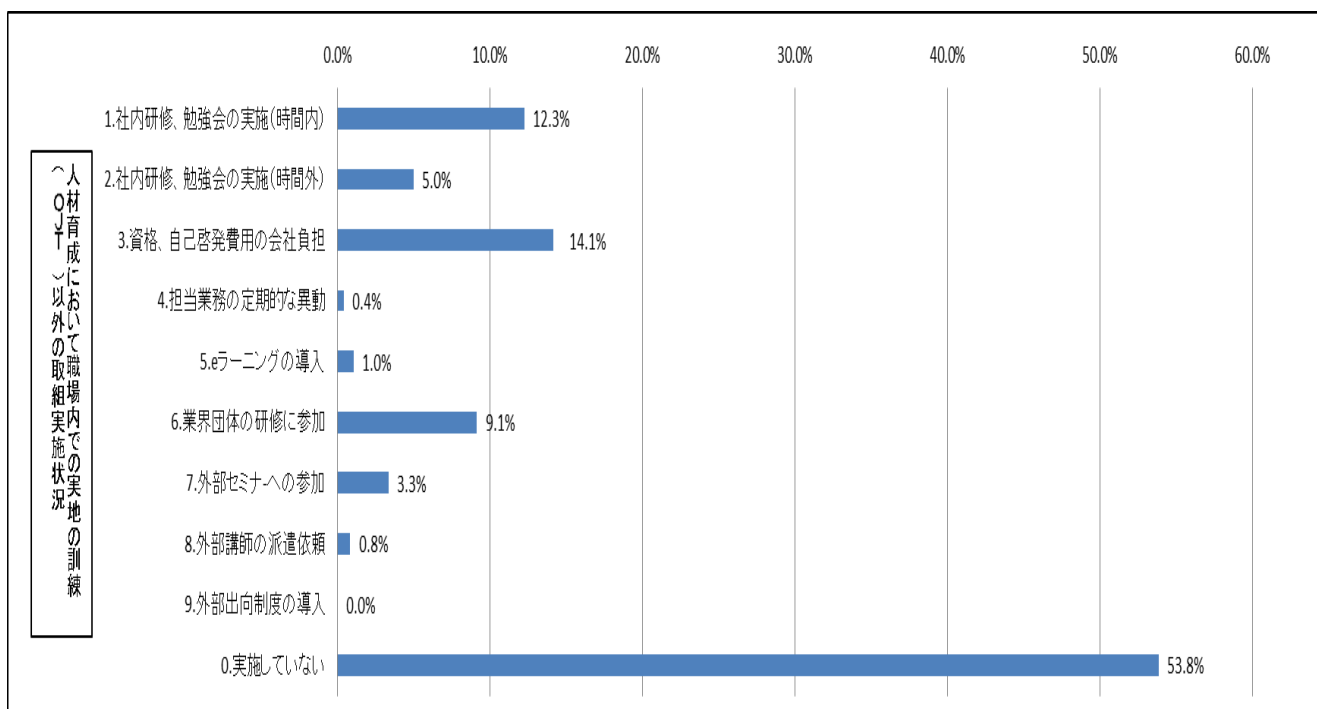
問1. 貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。1～0の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。



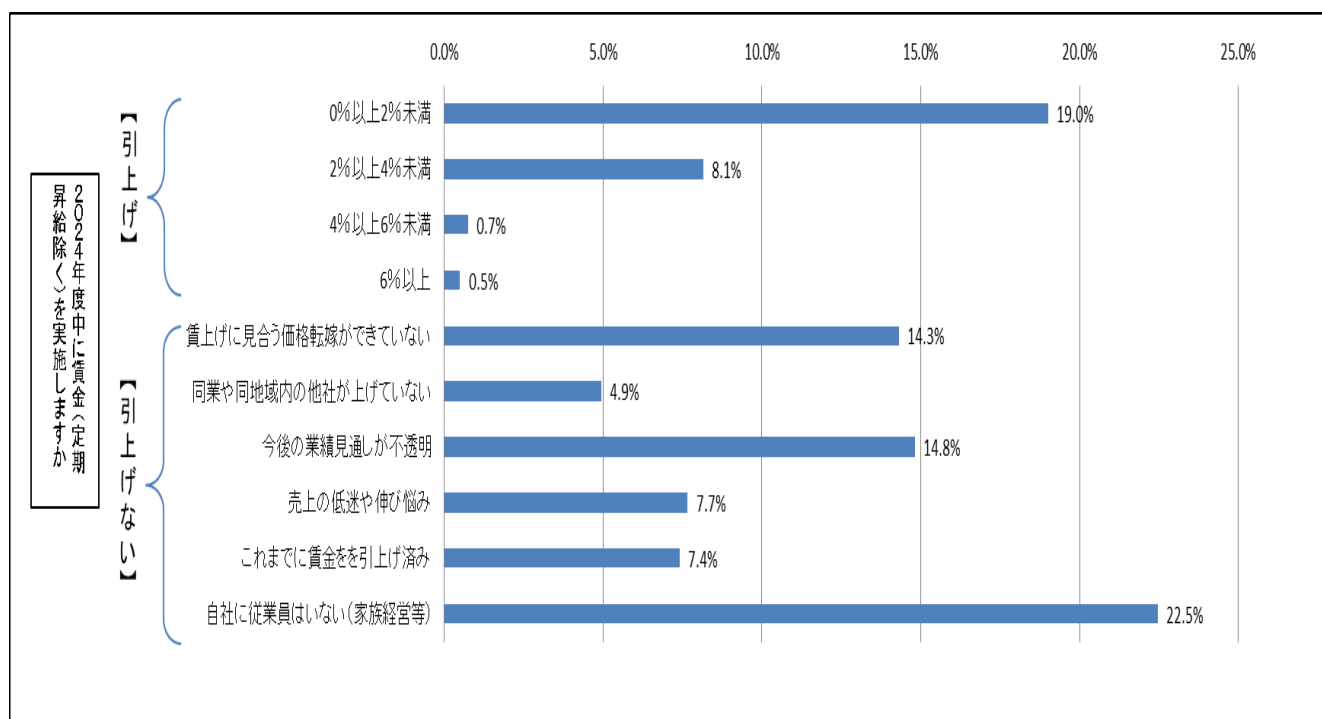
問2. 今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、1～9の中から3つえらんでお答えください。



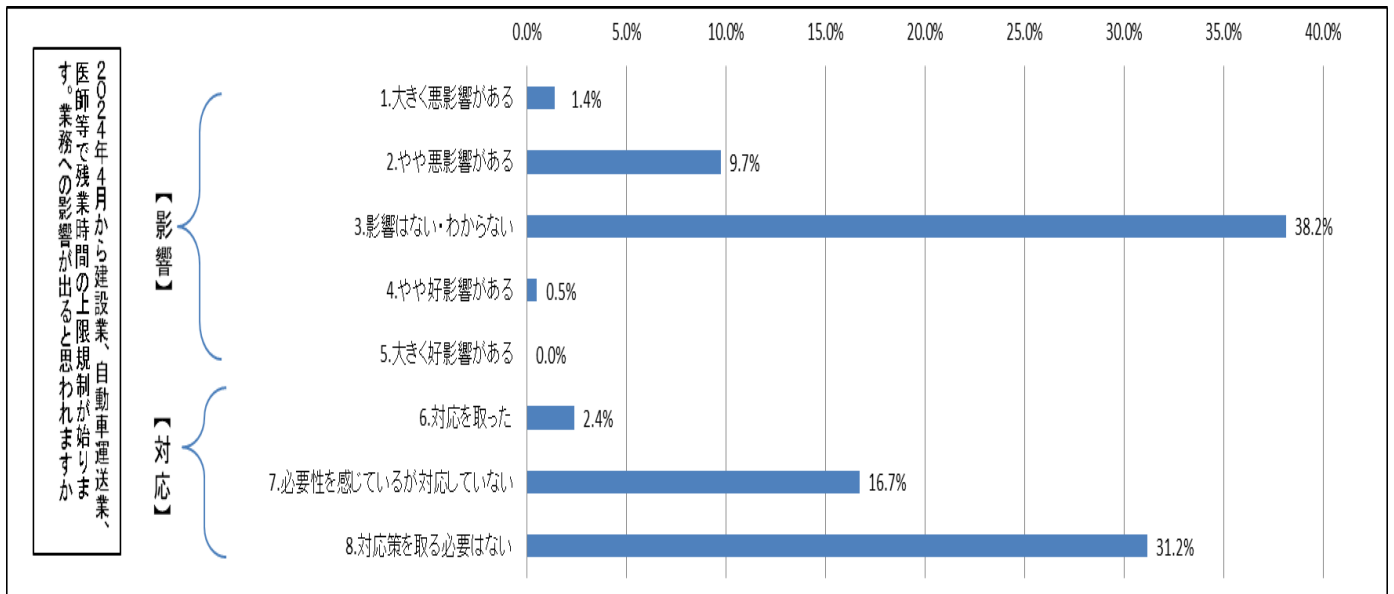
問3. 貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練（OJT）以外の取組みを実施していますか。1～9の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。実施していない方は0を選択して下さい



問4. 貴社では、人材定着などに向けて、2024年度中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引き上げを実施（実施予定を含む。）しますか。引き上げる方はその賃金引き上げ率について、引き上げない方は引き上げなかった理由について、それぞれお答えください。



問5. 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります(2024年問題)。
 これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。1~5の中から選んでお答えください。
 また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。6~8のなかから選んでお答えください。



「中小企業における人材戦略について」のまとめ

(景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

1. 現在の人材の状況で懸念していることについては、「懸念していることはない」という回答が24.4%と最も多く、「若手が不足している」という回答が24.2%、「高齢化が進んでいる」という回答が23.0%あり、高齢化が進む中、若年の人材不足が伺える。
2. 人材に対する対応策については、「中途採用の強化」という回答が23.5%、「新卒採用の強化」という回答が12.6%とあったが、「特に対応策を検討していない」という回答も40.1%あった。
3. 人材育成において、職場内での実地の訓練（OJT）以外の取組み状況については、「実施していない」という回答が53.08%と過半数を占め、「資格習得等、自己啓発費用の会社負担」という回答が14.1%、「社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）」という回答が12.3%と続いた。
4. 人材定着等に向けて、2024年度中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む。）については、「自社に従業員はいない（家族経営等）」という回答が22.5%と最も多かった。「0%以上2%未満の賃上げ」という回答が19.0%と続いたが、「今後の業績見通しが不透明」という回答が14.8%、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」という回答が14.3%となっている。
5. 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まりますが、貴社では業務への影響が出ると見込まれますかについては、「影響はない・わからない」という回答が38.2%と最も多く、「対応策を取る必要はない」という回答が31.2%であった。